

はぐくむ光のびる若芽

(226)

作岡内 向後 清和

我が家は、長女彩花（小4）、長男大輝（小3）、妻と私と祖母の5人に、口ク（猫み3才雑種）と子供達が拾ってきたも（猫み2才雑種）、それと妻が拾ってきたしまったチャム（犬み0才これも雑種）の大家族です。

実は以前も犬と猫を飼っていたのですが、4年前に相次いで死んでしまったのです。その出来事は子供達には大きなショックだった様で、何時までも玄関先で大粒の涙を流して泣いていました。好きな動物との別れは悲しく辛い事であり、命の尊さ大切さを二人は強く感じた事と思います。

彩花は2匹の猫が大好きで、やたらとちょっかいを出したりしては引掻かれたりと、見ていてハラハラする事があります。また、絵を描く事も大好きで、以前盗み見た4コママンガには爆笑させ

れました。

大輝は犬のチャムがお気に入りの子で、散歩も率先して出かけますが、犬の鎖が足に絡まりコケしてしまう事もしばしばある様です。ご多分に漏れずゲームが好きな様で、姉の彩花より上手なんだよ、と低い鼻を高くする事もしばしば。

コミュニケーションを大切に
二人の成長を見守っていきたい

とにかく二人とも動物に愛しさを感じる事と同じ位に思いやりのある、優しい子に何とか成長しているようであります。

最近では少年犯罪が低年齢化、悪質化しているようですが、家庭でのコミュニケーション不足も原因の一つだと感じています。子供達の

話をすべて聞くのは大変ですが、彩花も大輝も我先にと色々な話をしてきます。学校での出来事、お友達の話等、盛りだくさんですが、色々な会話の中で、家庭では見られない子供達の一面垣間見る事も出来ます。時には意見が衝突する時もありますが、そいつ時は自分の考えが主張出来る

様になったかと、少し微笑ましく思われる時もあります。もちろん間違った主張は注意しますが……。

私たちは子供達と過ごして10年となり

ますが、最近子供達に教えられる事も多くなってきた様に思えます。これからも話し合いの場を持ち、コミュニケーションを大切に、子供の成長を見守っていききたいと思っています。



今月の顔 シリーズ ⑤8

関口貞治さん（85歳）（篠本三区）



長寿の秘訣

子どもの頃一緒に暮らした祖父の寝物語で「長生きするにはこうしたほうがいいと教えられた」と話す関口さん。軽快に歩く足さばきの良さが健康を物語っているようでした。

◎祖父の教え

祖父は孫の開口さんに、「腹八分目に食べて、米は少なめに、野菜やおかずをよく取るように」「手仕事や体を動かすことはいい」

と聞かせていたそうです。

その教えをよく守り、食事は腹八分に食べ、八日市場市にある畑までは毎日バイクで行き、よく体を動かします。できた無農薬の野菜を友人に配ることが、一番の喜びになっています。また、1月6日は山刈り正月といって家の前の山の木の枝や草を刈ったそうです。亡き実母も89歳で千足のわらじを編んで人に配ったなど、代々その教えが生きています。

◎グラウンドゴルフ歴12年

若いとき香取郡のマラソン大会に出ていたという開口さんはスポーツ好きで、グラウンドゴルフが始まって以来、現在まで週2回続けています。また、その腕前もさすがで、11月の海匠スポレク大会では準優勝しました。

◎自分の歯を大事にする

現在20本以上自分の歯をもつ開口さんは、戦時中に歯科医から、歯の手入れをよくして自分の歯を抜かないよう教えられ、以来義歯も使用しますが、自分の歯で良くかめ、堅い物が大好きです。

「歳をとってからの一日を過ごすのは大変なこと、家で寝てばかりいてはだめになるし、つまらないことばかり考えてしまうから」と話す開口さんの脇には83歳の妻とるさん、そして小学校から帰ったばかりの曾孫の麻衣子ちゃんがかたつにもぐりこんできました。時代を越えて語り継がれる長寿の秘訣に、仏間の奥から先祖の微笑みが伝わってくるようでした。

（保健師 土屋）